

- 日経平均株価、NYダウともに急落。パウエルFRB議長が米雇用の先行きなどに慎重な見方を示したことで市場の楽観的な見方が後退し、利益確定とみられる売りが強まったとみられる。
- VIX指数は6月5日の24.52から40.79へ急上昇。新型コロナウイルスの米国の感染者数が200万人を超え、感染拡大の第2波も懸念されるなか、今後のVIX指数の動向に注視が必要と思われる。

NYダウはおよそ3か月ぶりの下落を記録

11日の日米株式市場では、主要株価指数が急落しました。

日経平均株価は大幅に反落し、前日比-652.04円の22,472.91円で終了しました。前日比の下落幅は3月26日以来、約2ヵ月半ぶりの大きさだったほか、下落率は2.8%と、5月1日以来およそ1ヵ月半ぶりの大きさでした。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）は大幅に3日続落し、前日比-1,861.82ドルの25,128.17ドルで終了しました。前日比の下落率は6.9%と、下落幅、下落率ともに過去最大の下落幅を記録した3月16日以来およそ3か月ぶりの大きさとなりました。

米金融緩和策の長期化で楽観的な見方が後退か

10日に発表された米連邦公開市場委員会（FOMC）声明では、政策金利であるフェデラルファンド（FF）金利の誘導目標を0.00～0.25%に据え置くことが決定され、同参加者による政策金利見通しでは、同誘導目標の2022年末時点で水準は今回と変わらず、実質的なゼロ金利の長期化の可能性が示唆されました。また、声明発表後の記者会見でパウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が米雇用の先行きなどに慎重な見方を示したことで市場の楽観的な見方が後退し、利益確定とみられる売りが強まったとみられます。

また、金融緩和策が長期化するとの見方などもあって、米10年国債利回りは9日の0.82%台から11日には0.66%台へ急低下しました。米金利急低下を受けた米ドル安円高の動きも日経平均株価など国内主要株価指数の下落要因とみられます。

VIX指数の動向に注視が必要と思われる

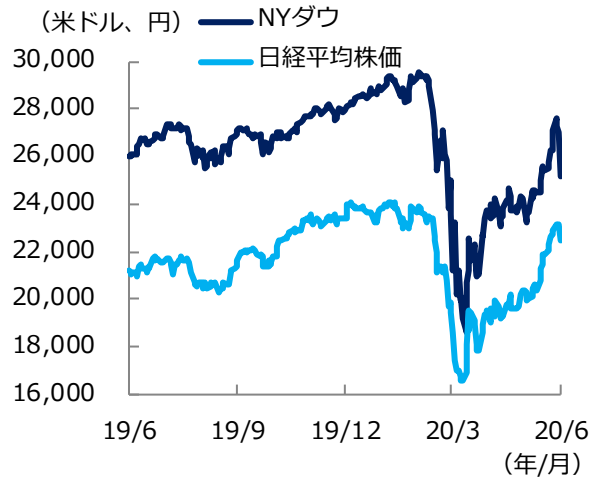
S&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）であるVIX指数は、3月16日の82.69から6月5日には24.52へ低下しました。しかし、昨日の米国株急落を受け、40.79へ急上昇しました。米国で経済活動が再開されるなか、足もとではテキサス州やカリフォルニア州などの都市部で新型コロナウイルスの感染者数が拡大傾向にあり、米国の感染者数は200万人を超えました。

市場では感染拡大の第2波が懸念されており、今後の市場参加者心理を考えるとVIX指数の動向に注視が必要と思われます。

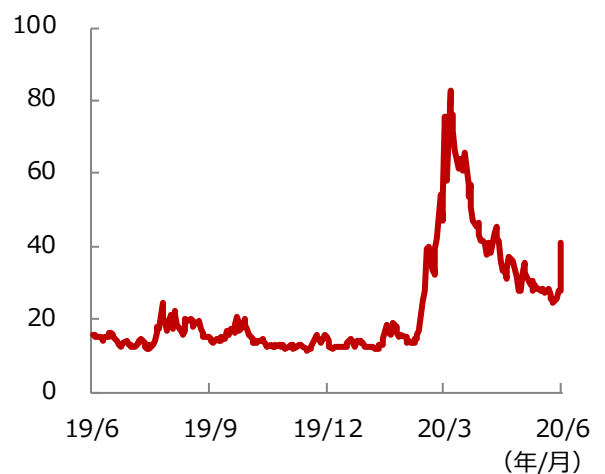
※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

日米株式市場の推移



VIX指数の推移



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- 「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均株価」自体および「日経平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。
- ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。